

## 大阪 P C B 廃棄物処理施設 運転開始 2 年後 内部技術評価結果について

日本環境安全事業株式会社では、P C B 廃棄物処理事業の円滑な実施のため、P C B 廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から、処理施設の健全性及び運転・操業の確実性の確保とこれらの維持向上を図るために定期的に内部技術評価を実施することとしている。

これに基づき、大阪事業所に係る第 2 回目の内部技術評価を平成 2 0 年 1 0 月に実施した結果、処理施設が安全かつ確実に運転されていることが確認された。

## 1. 内部技術評価

内部技術評価は、実施要領に基づくもので、技術評価の実施フロー（添付資料 1）に従った操業時の業務の一環として位置付けている。

## (1) 評価対象事業所及び部署

大阪事業所 運転管理課及び安全対策室

## (2) 評価実施日

平成 2 0 年 1 0 月 2 ～ 3 日

## (3) 重点評価項目

今回の内部技術評価は、処理性能の維持を重点とし環境安全内部監査との整合を図る見直しを行った上で、以下に示す重点評価項目に着目し実施した。

- 1) 運転開始後、安全かつ確実に運転されているか（運転管理）。
- 2) 処理性能等が引き続いて発揮されているか（継続性）。

## (4) 評価項目

内部技術評価は、以下に示す評価項目について実施した。

- 1) 前回の技術評価結果に関する現状の確認
- 2) 処理能力
- 3) 環境保全
- 4) 安全性確保
- 5) 適法性
- 6) トラブル対応

## (5) 評価方法

内部技術評価は、チェックリストを作成のうえ、対象事業所担当者に対するヒアリング及び資料閲覧により実施した。

今回は、重点評価項目の観点より選定した２９項目について、口頭で問い合わせ、説明および回答を求める方法で実施した。

内部技術評価の結果は、以下に示す区分により判定した。

- 1) 適合事項：設備、作業手順、各種マニュアル類、点検・保守・補修等の基準、処理性能等、運転等の管理体制等に適合している場合
- 2) 指摘事項：事業所に対して検討を要請する場合
- 3) 所見：改善のための意見及び特記すべき事項の場合

## ２．内部技術評価の結果について

今回の内部技術評価に関する評価結果は、確認項目数２９項目のうち、指摘事項はなし、所見が５項目であった。評価できる項目は以下である。

- ①運転管理：卒業判定結果のまとめと解析、用役等の原単位管理と活用、運転会社の改善提案採用、機器点検チェックリストの充実。
- ②環境保全：オンラインモニタリング装置の維持管理充実、活性炭寿命管理見直し及び保管量の低減化。
- ③リスクアセスメントの実践。
- ④前回技術評価時の指摘事項と所見について、継続して取り組みされていることを確認した。

所見５項目は、(1)タール対策継続検討、(2)作業環境改善継続検討、(3)二次汚染物対策、(4)腐食対策継続検討、(5)リスクアセスメントの実践継続(良)である。(1)～(4)は操業開始後２年を経過して特に運転管理上問題になってきている内容であり、大阪事業所だけの問題でなく全事業所共通の課題である。全社共通の課題として積極的に取り組んでいく必要がある。

内部技術評価結果を「別表」に示す。

「別表」 内部技術評価結果

| 技術評価項目                                                 | 主な技術評価結果                                                                                                  | 改善措置 |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1) 前回の技術評価結果に関する現状の確認<br>【評価項目数 6】<br>適合事項 6<br>指摘事項 0 | 前回技術評価結果として挙げられた指摘事項等の項目に関し、事業所として改善措置が継続実施されていることを確認した。                                                  | —    |
| 2) 処理能力<br>【評価項目数 10】<br>適合事項 10<br>指摘事項 0             | 処理能力は全体的にほぼ発揮されている。<br>卒業判定状況の分析日報による内容の把握と解析、原単位管理表を溶媒の使用量削減計画等に活用、運転会社改善提案を採用しS A委員会で検討実施する等の管理が行われている。 | —    |
| 3) 環境保全<br>【評価項目数 3】<br>適合事項 3<br>指摘事項 0               | ベンゼン、塩化水素の自主管理目標値を確実に達成する等の管理が徹底している。<br>オンラインモニタリング装置の日常点検、月次点検等定期的維持管理及びデータ収集、トレンド分析の実施等の管理が行われている。     | —    |
| 4) 安全性確保<br>【評価項目数 3】<br>適合事項 3<br>指摘事項 0              | 作業環境改善に向けた検討やHHK補償工事等を継続的に行っている。                                                                          | —    |
| 5) 適法性<br>【評価項目数 5】<br>適合事項 5<br>指摘事項 0                | 「リスクアセスメントの実践」などの年間教育計画表に基づく教育が実施されている。                                                                   | —    |
| 6) トラブル対応<br>【評価項目数 2】<br>適合事項 2<br>指摘事項 0             | ダイオキシン類濃度レベルを低下させるための作業環境改善などの検討を継続している。                                                                  |      |

<内部技術評価フロー>

